



鳥取県教育センターだより

Tottori Prefectural Education Center News

〒680-0941 鳥取市湖山町北5丁目201 【TEL】0857-28-2321（代表）【FAX】0857-28-8513
【URL】http://www.torikyo.ed.jp/kyoiku-c/ 【e-mail】kyoikucenter@pref.tottori.lg.jp

教えることは、学ぶこと

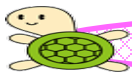
所長 小林 傳

当センターの第4研修室に、一幅の書が掛かっている。「教学相致」と書かれたこの書は、倉吉市の書道家であった塚根東翠（喜代蔵）氏のものと思われる。これまで第4研修室を訪れる度に、この書を幾度となく目にしてきた私だが、そこに書かれた言葉の意味を、なぜだかここ数年来しみじみ考えるようになってきた。

「教学相致」とは多分、「教学、相致す。」と読むのが正しいのだろう。意味は「教えることと学ぶことが一つになる」、つまり「教えるとは、学ぶことである。」といった「教える側の謙虚さの必要性」を東翠氏は言い表しているものと思われる。一方、ここ数年の間、この意味に加えて、「教育は、教える側と学ぶ側が一体となることなのだ。」と、自分勝手な私は、自分の都合のいいように拡大解釈をさせていただいてきた。

「教学相致」に近い言葉として、「教学相長」という四文字熟語がある。これは、「教学、相長ず。」と読み、「人を教育することは、自分の修行になり、師の側も成長の機会となる。すなわち、教育は、教えるを受けることで自分の不足するものを知り、教える側も自らの知識の不備や未熟さに気づかされる。教える側と学ぶ側が相互に刺激を与え合い、成長することを言う。」という意味である。「教学相致」と「教学相長」はいずれも、私たち教育に携わる者に対して、その基本的心構えを問いかけているのだ。

そういえば、外国にも同じようなことを言っている言葉があった。
「To teach is to learn twice.」教えることとは、2度学ぶことである。（ジョセフ・ジュベール）



平成29年度の基本研修がスタートしました

4月20日（木）初任者研修・新規採用養護教諭研修、新規採用幼稚園教員研修が、4月24日（月）5年目研修が、4月25日（火）中堅教諭等資質向上研修がスタートしました。初任者研修・新規採用養護教諭研修、新規採用幼稚園教員研修では、開講式の後、受講者はそれぞれの校種に分かれ、「教職員の服務」、「鳥取県学校教育の現状と課題」、受講にあたってのオリエンテーションを受けました。教育公務員としての心構えや社会人としてのマナー・態度について、講義や演習をとおして理解を深めることができました。5年目研修は、自己の専門性の向上、視野の拡大をテーマに研修を深めます。中堅教諭等資質向上研修では、ミドルリーダーとして校内組織の活性化に向けて研究を深めます。今後、受講者は1年間の目標を設定し、課題研究に取り組んでいきます。



初任者研修（4/20）

「新任校長に期待すること」鳥取県教育委員会教育長 山本仁志 新任校長研修（4/27）より

学校長の役割

学校経営者の役割

鳥取県のめざす校長像

学校経営に求められる力

学校教育目標の設定と明示 戦略の策定 組織・カリキュラムの構築 教育改革への対応 保護者や地域に対する説明 子どもたちの学力・体力・人間力の向上 教育環境等

学校運営の活性化を図り、リーダーシップを発揮しながら組織的・機動的な学校経営

総合判断力+実践力 責任を負う覚悟 危機意識 決断力

危機に備える

- ・軽微な事故を全力で防ぐ（ハインリッヒの法則）
- ・好ましくない状況は早期に対応

費用対効果を高める

- ・カイゼン運動の勧め（勤務実態の把握、多忙な理由の把握、コスト意識、できることからやってみる、カリキュラムの工夫で一石〇鳥

学校経営上の視点

教育資源を活かす

- ・教職員を活かす（チーム学校）
- ・地域資源の再発見と活用

変化に柔軟に対応する

- ・「社会の流動化」、「教育改革」、「多様化する価値観」への対応

新任校長への期待

子どもたちのためになると思うことは失敗を恐れずチャレンジ / 現場主義を実践 / 一人ひとりを大切にする / 勤や経験だけに頼らず学び続ける / 人を頼れる / 人が使える / 心身ともに健康 / 保護者・県民からの信頼

《シリーズ》

OJT 促進に向けて

初心者を育成するためのOJT
～学校におけるOJTの進め方～

個別指導によるOJT

当センターでは、学校教育支援事業等を通じて、学校におけるOJT促進を支援しています。今回からシリーズで、教職員のOJTに関する意識の醸成や校内の支援体制の整備に役立つ情報を提供していきます。第1回目は、4月6日に行われた初任者研修拠点校指導教員等研修会より、初心者を育成するためのOJTの進め方について紹介します。

学校におけるOJTの進め方は大きく2つに分けられます。1つは個別指導によるOJT、もう1つは集団によるOJTがあります。このうち個別指導によるOJTを進めるよさについて紹介します。

---意図的・計画的・継続的な支援が必要---

①目標を共有して育てる

その場で思いついたことを、その都度教えているだけでは初任者の身に付けるべき力を定着させることはできません。いつ・だれが・どのような場面や方法でOJTを実施するかを明確することが大切です。そのためにも 初任者と目標を共有しながら支援していくことが大切です。

②場を与え、仕事を任せて育てる

「立場が人を成長させる」ということばがあるように、場を与えることにより、新たな能力が開発されるなど初任者の資質や能力の向上につながります。また、任されることで「責任感」や「やりがい」「達成感」を味わうことができ、さらに成長することができます。

③機会を捉えた指導により育てる

例えば、
・新しい仕事を任せるとき
・仕事に意欲的に取り組んでいるとき
・仕事が進まずに落ち込んでいるとき
・仕事が完結したとき
・校外研修の受講前後など、日頃から指導場面を逃さないように声をかけること、また、継続的に指導していくことが大切です。

「出かけるセンター」を実施します

当センター（及びいじめ・不登校総合対策センター）では、訪問型研修「出かけるセンター」を実施しています。これは、学校や教育研究団体及び研究グループ等が行う自主的・主体的な研修活動に対して、県教育センター指導主事等を派遣し、研修活動を支援するものです。

詳しくは、当センターのHPをご覧ください。

【こんなご要望にお応えします！】

- ・情報モラルの授業を改善したい。
 - ・A Lの視点に立った授業づくりをしたい。
 - ・タブレットを授業で有効に活用したい。
 - ・今ある機器をもっと活用したい。
- など

《気軽にお尋ねください》

《研修メニュー》

番号	研修名	内容（所要時間）	担当課（講師）
1	情報モラル研修	(1)「情報モラル教育校内研修用DVD」を使用して、情報モラル教育について研修 (2)情報モラル教育の基本について講義や情報モラル指導の基本的な考え方、授業の作り方の研修 (各約1時間)	教育企画研修課 学力向上担当
2	I C T活用研修	タブレット端末等のI C T機器を使った考える授業づくりについて研修を行います。 ※タブレット端末については、教育センターで準備できます。 (約2時間)	教育企画研修課 学力向上担当
3	O J Tに関する ワークショップ型研修	「子どもの実態把握と目標設定」「研究の方向性の明確化」「カリキュラムの見直し」「若手育成」などの内容について、ワークショップ型の研修を行います。 (約1時間～1時間30分)	教育企画研修課 研修企画担当 学力向上担当
4	アクティブ・ラーニングの 視点に立った授業づくり	新しい時代に求められる資質・能力のあり方や「主体的・対話的で深い学び」の考え方等について、体験しながら学ぶ研修を行います。 (約2時間)	教育企画研修課 研修企画担当 学力向上担当
5	各種調査結果を活かす研修	全国学力・学習状況調査などの各種調査や学校評価などの結果を分析し、自校のよさや課題を明らかにして具体的な取組につなげる方策について研修を行います。 (約1時間～1時間30分)	教育企画研修課 研修企画担当 学力向上担当
6	いじめ防止をめざした 学級・学校づくり	(1)「学校いじめ防止基本方針」を共通理解する研修等において、県の基本方針のポイント等を説明 (2)いじめ事例をもとに、ケースに応じた対応方法 (3)いじめ事例をもとに、重大事態を防ぐための方法 (各約1時間～1時間30分)	いじめ・不登校 総合対策センター
7	不登校など学校不適応の 未然防止をめざした 学級づくり	(1)不登校を未然に防ぐための児童生徒への関わり方 (2)特別な支援が必要な児童生徒への関わり方 (3)みんなが活躍できる学級づくり（特別活動） (各約1時間～1時間30分)	いじめ・不登校 総合対策センター

「教育センターフォーラム2017」を開催します！！

「教育センターフォーラム2017」を7月13日（木）に県教育センターで開催します。平成28年度の長期研修生個人研究及びスーパーバイザー派遣事業の成果発表や記念講演を計画しています。記念講演は「学力格差への挑戦 ～高い成果をあげている学校の特徴より～」と題して、お茶の水女子大学の耳塚寛明教授にお話をさせていただく予定です。家庭環境や社会経済的背景など、学力に影響を与える要因の分析を通じて学力格差の実態を明らかにするとともに、学力格差を克服し、高い成果をあげている学校や教育委員会の取組についてお話をさせていただきます。積極的な参加をお待ちしております。

《研究発表》 13:10～14:15

I 長期研修（南部町立法勝寺中学校 濱家 雄 教諭）

II スーパーバイザー派遣事業①（鳥取市立岩倉小学校 山根美奈子 教諭）

III スーパーバイザー派遣事業②（鳥取市立南中学校 西川公一 教諭）

《記念講演》 14:30～16:00

演題 「学力格差への挑戦 ～高い成果をあげている学校の特徴より～」

